

インフルエンザ患者報告数が警報レベルに近づいています



県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↗2,153	1,256	百日咳	↗ 1	0
RSウイルス感染症	↘ 64	80	ヘルパンギーナ	↘ 4	5
咽頭結膜熱	↗ 35	23	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↘ 58	74
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗ 144	109	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↗ 712	696	流行性角結膜炎(はやり目)	↘ 21	22
水痘	↗ 16	14	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↘ 1	7	無菌性髄膜炎	↗ 3	0
伝染性紅斑(りんご病)	↘ 84	97	マイコプラズマ肺炎	→ 2	2
突発性発しん	↘ 22	25	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	↗ 11	9

**インフルエンザ**  
報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

大きな流行が発生又は継続しつつある地域

インフルエンザ : 宇城、菊池、有明、山鹿  
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 : 天草  
感染性胃腸炎 : 山鹿、菊池、有明、八代  
伝染性紅斑 : 菊池、水俣、熊本市、八代、宇城、天草  
流行性耳下腺炎 : 山鹿、有明

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
熊本市保健所	618	6	7	55	163	8		30	4			11		16			2			10
山鹿保健所	97	2			66			2				9	*	*						
菊池保健所	396	23	14	14	145	4	1	23	7	1	2	9		1						
阿蘇保健所	33				12								*	*						
御船保健所	64				40	1		5				1	*	*						
八代保健所	125	4		8	62	3		6	1											
水俣保健所	51	6	3	3	6			4	1				*	*		1	2			1
人吉保健所	143	10		3	16			3	2			2	*	*						
有明保健所	267	3	5	7	120			2	3			16		4						
宇城保健所	316	4	2	14	50			5	3			7	*	*						
天草保健所	43	6	4	40	32			4	1		2	3								
計	2153	64	35	144	712	16	1	84	22	1	4	58	0	21	0	3	2	0	0	11

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5 ヵ月	6~11 ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	
インフルエンザ	2153	14	25	82	87	109	191	199	188	182	139	106	213	50	68	173	133	89	72	20	13	
小児科定点年齢	合計	0~5 ヵ月	6~11 ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	64	3	18	32	7	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0							
咽頭結膜熱	35	0	1	15	6	3	4	3	2	0	0	0	1	0	0							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	144	1	1	4	4	16	13	24	19	12	9	8	27	3	3							
感染性胃腸炎	712	7	33	118	86	62	62	50	31	37	30	28	91	16	61							
水痘	16	0	0	2	1	4	2	4	0	0	0	1	1	1	0							
手足口病	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
伝染性紅斑	84	0	1	4	3	8	23	9	10	7	9	4	6	0	0							
突発性発しん	22	0	7	13	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
百日咳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0							
ヘルパンギーナ	4	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0							
流行性耳下腺炎	58	0	0	1	8	8	12	8	5	5	1	4	5	0	1							
眼科定点年齢区分	合計	0~5 ヵ月	6~11 ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	21	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	1	1	1	3	4	4	3	0	0	0	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	3	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	11	1	8	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

インフルエンザ報告数が警報レベルに近づいています

2月1日~2月7日の県内のインフルエンザの報告数は、2,153件となって警報レベルに近づいています。前週1,256件より1月31日の1,256件に比べ、報告数は1.7倍に急増し、10週連続で報告数は増加しています。

保健所別では、宇城、菊池、有明、山鹿地域が警報レベルを超え、人吉、熊本市、八代、水俣、御船、阿蘇地域が注意報レベルを超えています。今後、患者数が増加することが予想されますので警戒が必要です。

インフルエンザの予防方法

1. 時間をかけた丁寧な手洗い  
流水や石けんでの手洗いは、手指についたウイルスを洗い流す効果があるといわれています。ただし、洗いすぎが不十分だとウイルスを完全に除去することができません。20秒以上時間をかけた丁寧な手洗いを心がけましょう。指先・手首・指の付け根は、特に丁寧に洗きましょう。さらに、手洗いの後に、アルコール消毒を行うとより効果的です。

2. 咳エチケット  
咳やくしゃみは他の人に向けないようにしましょう。また、咳やくしゃみが止まる時は、できるだけマスクをつけましょう。特に、手のひらで受け止めたときは、すぐに手を洗いましょう。マスクは、感染者がつけたほうが、感染予防効果は高いといわれています。

※熊本県のホームページ  
「今冬のインフルエンザ総合対策に取り組みましょう」  
[http://www.pref.kumamoto.jp/kiji\\_13799.html](http://www.pref.kumamoto.jp/kiji_13799.html)



KKT医療ナビ!

Dr. テレビたん

KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvitan.jp/>

情報提供: 熊本県健康福祉部 健康危機管理課